



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ギャバン
コード番号 2817 URL <http://www.gaban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 悟
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉永 毅

TEL 03-3537-3100

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,282	15.0	△4	—	10	—	4	—
27年3月期第1四半期	1,985	—	△48	—	△42	—	△56	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 22百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △80百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	0.37	—
27年3月期第1四半期	△5.12	—

(注) 当社は、平成26年3月期より決算日を2月末日から3月31日に変更しました。これに伴い、平成27年3月の第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)と平成26年3月期の第1四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年5月31日)は、期間が異なるため対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	10,342	9,180	88.8	834.00
27年3月期	10,198	9,257	90.8	840.96

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 9,180百万円 27年3月期 9,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	9,250	8.1	10	—	35	—	5	—	0.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理及びその評価は通期でのみ実施しているため、第2四半期連結累計期間における業績予想は、記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 03「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	11,041,277 株	27年3月期	11,041,277 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	33,238 株	27年3月期	33,028 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	11,008,091 株	27年3月期1Q	11,009,372 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料の2ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり企業収益や雇用環境の改善傾向が続いていること等から、回復が遅れていた消費税増税後の個人消費にも改善傾向がみられ、円安の進行による物価の上昇等、先行き不透明な状況であるものの、全体としては緩やかな景気回復基調で推移しました。

食品業界におきましては、依然として消費者の低価格志向が継続する中、輸入原材料の価格が高い水準にあり、引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループは業務用香辛料（スパイス）等の販売を中心とした企業活動を展開し、国内及び海外市場において販売拡大と収益改善に取り組んでまいりました。

売上高に関しましては、国内の外食営業部門においては消費税増税後の販売数量の落ち込みが持ち直したこと、前期に実施した製品価格の値上げ効果等により好調に推移し、広域営業部門（前期加工及び広域営業部門等）においては新規取組みの採用等により、順調に販売が推移したことから、全体では前年同期を上回りました。海外においては、継続的に売上拡大を実現しました。これらの結果として、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期より上回りました。

利益に関しましては、収益確保に向けて継続して工場固定費をはじめとする経費の削減に全社を挙げて取り組むとともに、製品価格の値上げを実施してまいりましたが、更なる円安の影響や、主力製品であるコショウの原料相場が高止まりであること等による原材料価格の上昇を補うには至らず、営業損失を計上いたしました。しかしながら、損失額は前年同期を大幅に下回り、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅に改善いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高 2,282百万円（前年同期比 15.0%増）、営業損失 4百万円（前年同期 48百万円の損失）、経常利益 10百万円（前年同期 42百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益 4百万円（前年同期 56百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 144百万円増加し、10,342百万円となりました。これは主としてたな卸資産の増加額 244百万円、受取手形及び売掛金の増加額 101百万円、現金及び預金の増加額 96百万円、流動資産のその他の増加額 65百万円、関係会社短期貸付金の減少額 328百万円、有形固定資産の減少額 34百万円等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ 220百万円増加し、1,161百万円となりました。これは主として買掛金の増加額 126百万円、流動負債のその他の増加額 129百万円、賞与引当金の減少額 42百万円、未払法人税等の減少額 2百万円等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 76百万円減少し、9,180百万円となりました。これは主として繰延ヘッジ損益の増加額 16百万円、利益剰余金の減少額 95百万円、為替換算調整勘定（借方残高）が 2百万円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より 96百万円増加し、407百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は 115百万円となりました。これは主として、仕入債務の増加額 77百万円、減価償却費 55百万円、税金等調整前四半期純利益 9百万円、その他の増加額 99百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加額 245百万円、売上債権の増加額 51百万円、賞与引当金の減少額 42百万円、法人税等の支払額 12百万円、為替差益 4百万円等による資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は 306百万円となりました。これは主として貸付金の回収による収入 919百万円、貸付による支出 590百万円、有形固定資産の取得による支出 20百万円、その他の支出 1百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は 97百万円となりました。これは主として配当金の支払額 97百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月7日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理及びその評価は通期のみで実施しているため、中間点である第2四半期連結累計期間における業績予想は、記載を省略しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	310,408	407,399
受取手形及び売掛金	1,685,813	1,786,870
商品及び製品	1,416,226	1,576,042
原材料及び貯蔵品	1,218,318	1,302,769
関係会社短期貸付金	1,735,019	1,406,757
繰延税金資産	34,748	34,727
その他	31,775	96,878
貸倒引当金	△315	△292
流動資産合計	6,431,994	6,611,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,313,794	2,291,488
リース資産(純額)	6,614	6,222
その他(純額)	1,227,563	1,215,459
有形固定資産合計	3,547,972	3,513,170
無形固定資産	166,503	159,925
投資その他の資産		
その他	60,695	66,973
貸倒引当金	△8,613	△8,614
投資その他の資産合計	52,082	58,359
固定資産合計	3,766,558	3,731,454
資産合計	10,198,552	10,342,606

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	524,028	650,283
リース債務	1,593	1,568
未払法人税等	16,785	14,486
賞与引当金	79,367	37,087
繰延税金負債	—	7,993
株主優待引当金	947	—
その他	213,571	342,898
流動負債合計	836,294	1,054,317
固定負債		
繰延税金負債	4,409	5,962
退職給付に係る負債	86,884	86,217
リース債務	5,203	4,827
その他	8,257	10,603
固定負債合計	104,754	107,610
負債合計	941,049	1,161,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,827,868	2,827,868
資本剰余金	2,841,693	2,841,693
利益剰余金	3,773,924	3,678,907
自己株式	△25,287	△25,412
株主資本合計	9,418,198	9,323,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,667	11,944
繰延ヘッジ損益	—	16,723
為替換算調整勘定	△167,078	△169,374
退職給付に係る調整累計額	△2,284	△1,670
その他の包括利益累計額合計	△160,695	△142,377
純資産合計	9,257,503	9,180,678
負債純資産合計	10,198,552	10,342,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,985,834	2,282,805
売上原価	1,550,056	1,807,534
売上総利益	435,777	475,270
販売費及び一般管理費	484,297	480,151
営業損失(△)	△48,519	△4,880
営業外収益		
受取利息	1,143	1,066
受取家賃	5,454	5,592
為替差益	—	7,801
その他	3,089	4,248
営業外収益合計	9,687	18,708
営業外費用		
貸貸費用	1,309	2,595
たな卸資産廃棄損	—	122
為替差損	927	—
その他	948	343
営業外費用合計	3,185	3,061
経常利益又は経常損失(△)	△42,017	10,767
特別損失		
投資有価証券売却損	7,166	—
固定資産除却損	—	922
特別損失合計	7,166	922
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△49,184	9,844
法人税、住民税及び事業税	4,862	5,780
法人税等調整額	2,280	8
法人税等合計	7,143	5,788
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△56,327	4,056
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,327	4,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△56,327	4,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	600	3,276
繰延ヘッジ損益	△5,410	16,723
為替換算調整勘定	△19,055	△2,295
退職給付に係る調整額	△411	613
その他の包括利益合計	△24,276	18,318
四半期包括利益	△80,604	22,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,604	22,374
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△49,184	9,844
減価償却費	59,779	55,277
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,830	△42,275
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△466	△53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△22
受取利息及び受取配当金	△1,553	△1,506
投資有価証券売却損益(△は益)	7,166	—
為替差損益(△は益)	△531	△4,896
固定資産除却損	—	922
売上債権の増減額(△は増加)	△26,643	△51,474
たな卸資産の増減額(△は増加)	△230,059	△245,572
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,748	77,405
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△839
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,634	△388
その他	146,226	99,405
小計	△134,209	△104,171
利息及び配当金の受取額	644	675
法人税等の支払額	△31,372	△12,252
法人税等の還付額	340	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△164,596	△115,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,102	△20,693
無形固定資産の取得による支出	△25,984	—
投資有価証券の取得による支出	△147	△147
投資有価証券の売却による収入	8,999	—
貸付けによる支出	—	△590,285
貸付金の回収による収入	—	919,427
その他	△81	△1,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,316	306,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△123	△125
配当金の支払額	△96,949	△97,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,073	△97,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	200	3,914
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△306,786	96,990
現金及び現金同等物の期首残高	987,974	310,408
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116,869	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 564,317	※ 407,399

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	日本	アセアン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,749,766	236,068	1,985,834	—	1,985,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,327	409,008	414,335	△414,335	—
計	1,755,093	645,076	2,400,170	△414,335	1,985,834
セグメント利益	30,000	13,373	43,374	△91,893	△48,519

- (注) 1. セグメント利益の調整額△91,893千円には、セグメント間取引消去△3,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△88,236千円が含まれております。全社費用は、当社の人事総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 第1四半期連結会計期間より、セグメントの名称を、従来の「東南アジア」から「アセアン」へと変更しておりますが、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、セグメント区分の方法に変更はありません。

- II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	日本	アセアン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,937,608	345,196	2,282,805	—	2,282,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	461	468,626	469,087	△469,087	—
計	1,938,070	813,822	2,751,893	△469,087	2,282,805
セグメント利益	60,126	33,222	93,348	△98,228	△4,880

- (注) 1. セグメント利益の調整額△98,228千円には、セグメント間取引消去△12,302千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△85,926千円が含まれております。全社費用は、当社の人事総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。